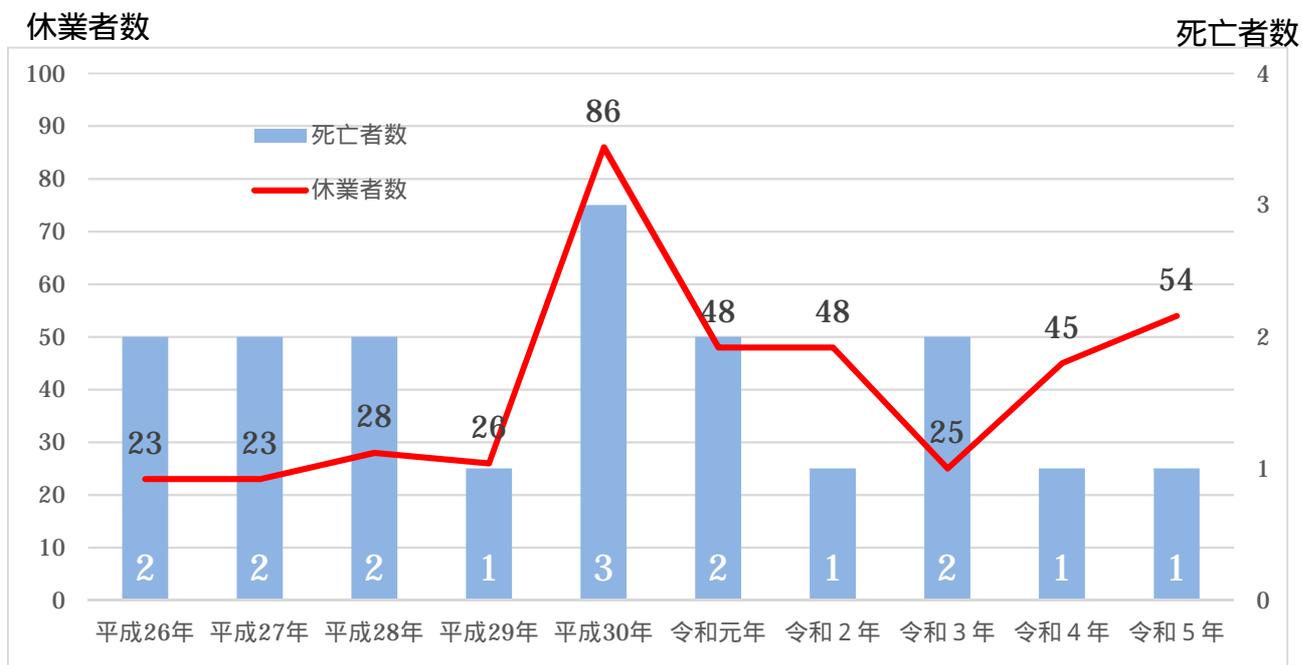
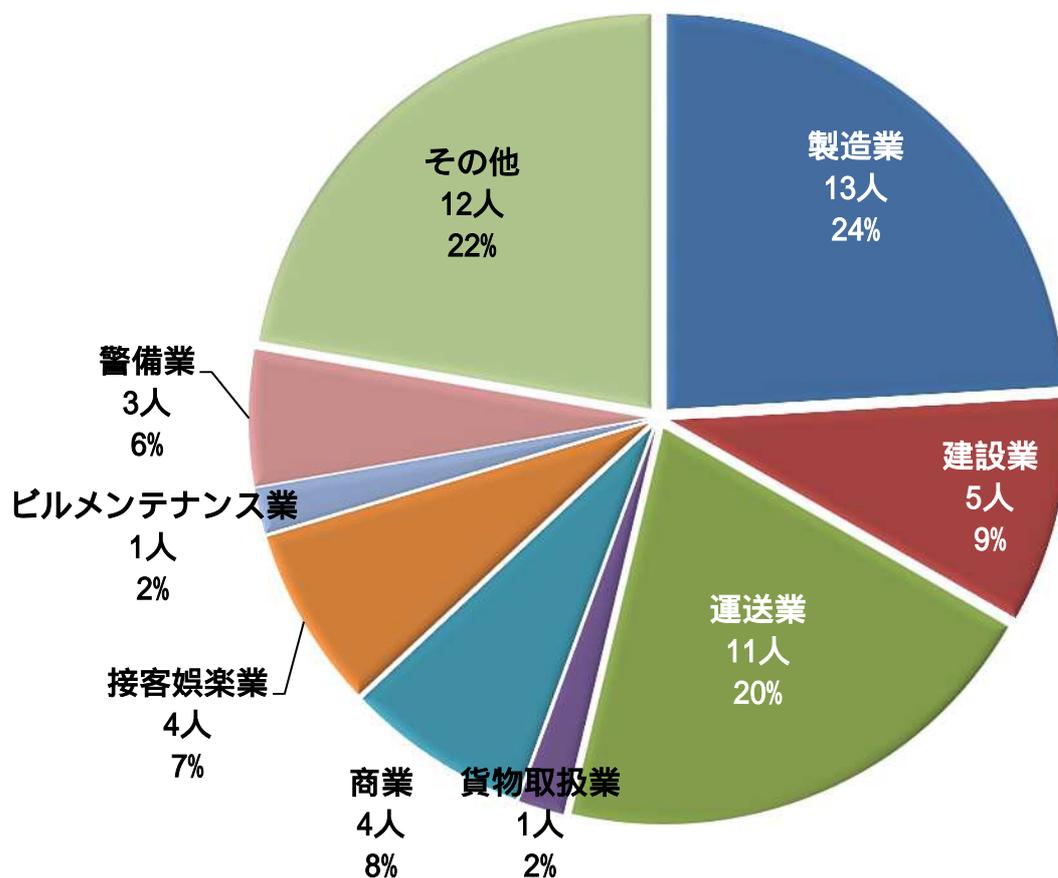


## 令和5年の府内の事業場における熱中症の発生状況

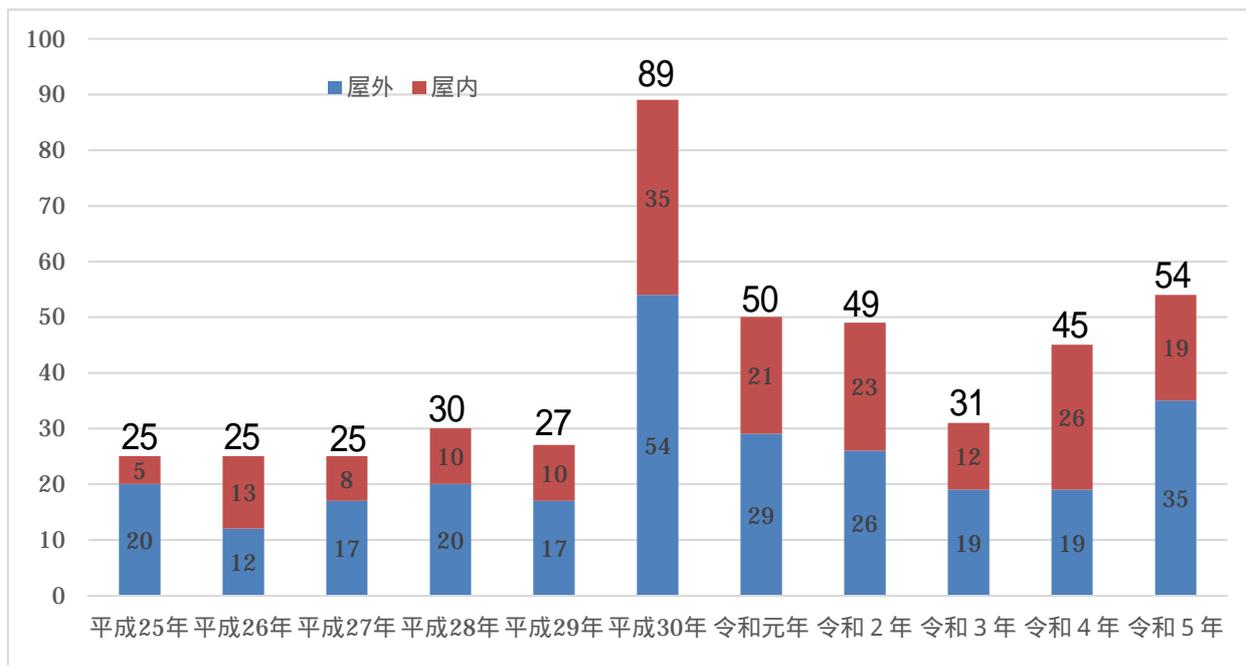
- 熱中症による休業4日以上<sup>※</sup>の死傷者数は、前年より増加し54人であった。また、死亡者数は、前年と同人数の1人であった。



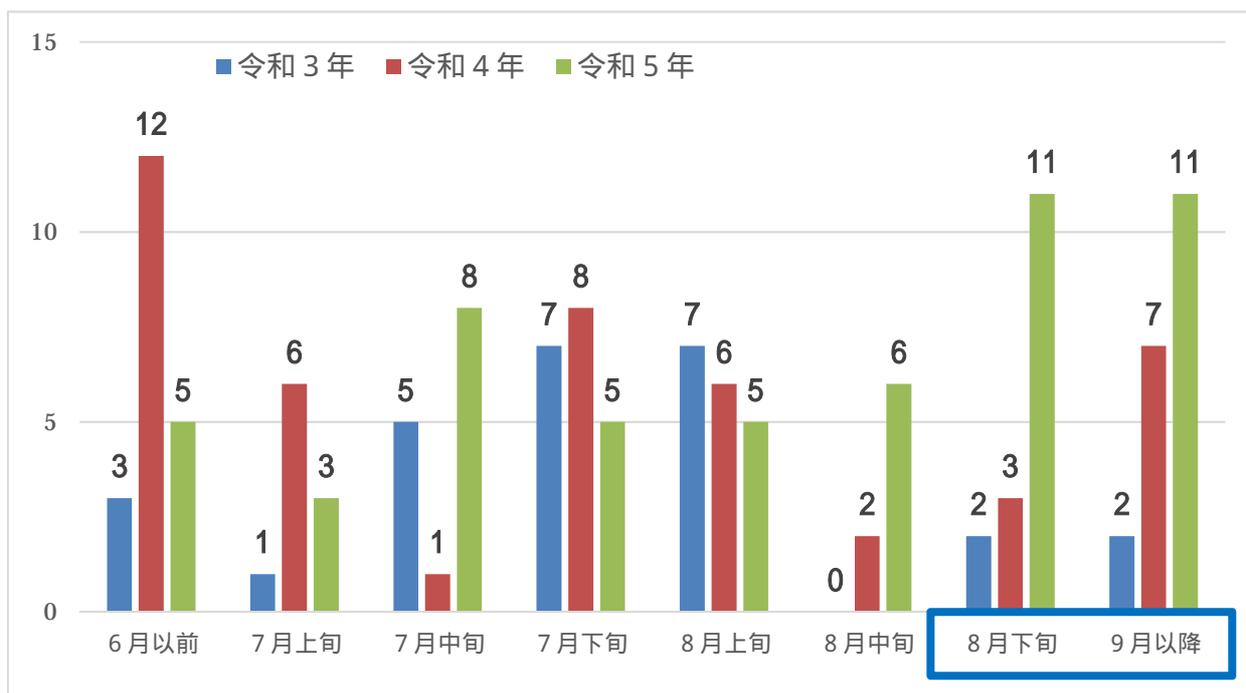
- 業種別では、製造業13人、建設業5人、運送業11人、商業4人、接客娯楽業4人、および警備業3人となっている。



◇ 令和5年の死傷者数で、全体の約65%が屋外作業で発生している。



◇ 令和5年の発生時期は、全体の約40%が8月下旬以降に発生している。



令和5年は全国的に高温となり、特に7月中旬以降、記録的な猛暑となったことから、暑さへの順化が十分できていない7月中旬には、熱中症の発生が多くなった。あわせて8月下旬以降も高温状態が続いたことから熱中症全体の40%以上となる22件は8月下旬以降の発生となった。

また、体調不良者をすぐに病院に搬送するという「緊急時の措置」が適切にとられていなかったと考えられる事案も15件発生している（「発生状況詳細」の発生月欄に印を付したもの）。

全国の熱中症による死亡を含む休業4日以上死傷者は1,045人、うち死亡者は28人となっている（令和6年1月11日現在の速報値）